

令和7年度 学校教育目標等

教育局	上川	学 校	北海道旭川東高等学校	課 程	定時制課程
-----	----	-----	------------	-----	-------

1 学 校 教 育 目 標

- (1) 生命を尊び、互いの価値を認め、励まし合える人間関係を築く。
- (2) 広い視野に立ち、深く考えて行動できる力を養う。
- (3) 志を高く掲げ、たくましく生きる力を育てる。

2 スクール・ミッション

- (1) 社会人としての基本的な資質を身に付け、地域の課題に対して主体的に考え、取り組むなど、自ら課題解決していく生徒を育成する。
- (2) 豊かな人間性や社会性を培い、自立した社会人・職業人となる生徒を育成する。
- (3) 学校教育目標と学校標語「シマレ ガンバレ」に基づき、社会人としての基礎・基本を身に付け、持続可能な地域の創り手としての資質・能力を身に付け、社会に貢献できる有為な人材を育成する。

3 3つの方針（スクール・ポリシー）

○育成を目指す資質・能力に関する方針（旭東 DP）
<ol style="list-style-type: none"> 1 基本的な生活習慣の確立に向けて、自らの感性や創造性を磨く生徒を育成する。 2 持続可能な地域の創り手としての資質・能力を身に付けた生徒を育成する。 3 心身ともに健全で、思いやりの心と感謝の気持ちで挨拶し、笑顔で生活できる生徒を育成する。 <p>《育成を目指す資質・能力》 1 行動力 2 協働力 3 自己指導力</p>
○教育課程の編成及び実施に関する方針（旭東 CP）
<ol style="list-style-type: none"> 1 学習指導要領の趣旨に則り、人間性豊かな生徒の育成を目指し、生徒の希望や地域の実態に即した教育課程を編成する。 2 各教科・科目等については、学習目標を明示し、基礎・基本を確実に身に付けるとともに、社会で生きる高校生としての学力が培われるよう編成する。 3 特別活動については、自主的・実践的な態度を育成するとともに、心身の調和のとれた発達を図るよう編成する。
○入学者の受入れに関する方針（旭東 AP）
<ol style="list-style-type: none"> 1 基本的な生活習慣が確立している、意欲ある生徒。 2 働きながら学ぶ意思の強い生徒。 3 高校卒業後の就職や進学について目標を持っている生徒。

4 指 導 上 の 重 点 事 項

重点 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな人間性を育む。 (1) 基本的な生活習慣を確立し、自ら努力する姿勢を身に付ける。 (2) 学習への意欲を高め、進路目標の実現に向けて地道に努力する姿勢を育む。 (3) 心身ともに健全で、思いやりの心と感謝の気持ちで、相互の生命と人権を尊重し合える関係性を構築する。
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって意欲的に学び続けることができる力を身に付ける。 (1) 育成すべき資質・能力の伸長を図るため、確かな学力を身に付けるとともに教科間や社会とのつながりを実感した学びを追求する。 (2) 学習活動をとおして「わかる」「できる」喜びを実感し、学ぶ意欲の向上を図りながら、生徒が自身のあり方や生き方に結びつくよう取り組む。 (3) 不用意な遅刻・欠席・早退をなくし、授業中の携帯電話使用といった授業を受けるための基本的マナーや規律について生徒が理解し、自ら律して行動する。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え、判断し、責任をもって行動する。 (1) 学校行事等において、身に付けるべき資質・能力や目的を目指し、生徒自身が自発的・主体的に学校行事等に参加する。 (2) 学習や生活における生活心得について、生徒自身が自分事として自主的に守る姿勢を身に付け、社会規範遵守の姿勢を育てる。 (3) 教職員等との日常的な面談等をとおして、問題解決の糸口を見出し、安心・安全な学校生活を送れるよう努める。 (4) 生徒自身が学校行事や部・同好会活動等に積極的かつ継続的に参加し、よりよい人間関係や人格形成を図れるよう努める。
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・体験的な学習により社会とのつながりを実感する。 (1) 総合的な探究の時間において外部支援団体の講演等を活用し、マナー習得や就労意欲につながるよう取り組み、生徒自らのキャリア形成を図る。 (2) インターンシップに積極的に参加し、勤労観や職業観を育む。 (3) 保護者等の理解と協力のもと、生徒自らが適切な情報を選択して早期に進路目標を定め、自己実現に向けて主体的に取り組む。
健康・安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ・自己管理能力を高めるとともに他者の多様性を認め合い、豊かな人間性と社会性を獲得する。 (1) 教職員が生徒個々の家庭環境や困り感を把握し、支援が必要な生徒の指導計画を作成・共有する中で、生徒自身が社会人としての基本的な資質を身に付け、自立的な生活を確立する。 (2) 危機管理マニュアルに基づき、健康で安心・安全な学習環境を維持し、生徒自らが自己管理能力を身に付ける。 (3) 客観的なアセスメントを活用し自己理解を深めるとともに、発達支持的指導をとおして多様性を認め合い、豊かな人間性や社会性を身に付ける。

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。